

9条まもりぬこう

憲法問題 Q&A

安倍首相が狙う改憲。どう考えればいいでしょう。



9条って何ですか？

「二度と戦争しない」世界への誓い

日本は15年間の侵略戦争でアジア・太平洋諸国で2000万人以上、日本国民で310万人以上の命を奪いました。その痛苦の反省から「二度と戦争しない」という決意をこめ、憲法9条に「戦争放棄」「戦力不保持」を刻み込みました。9条は全世界への平和の誓いです。

9条があるからこそ、自衛隊も海外で人を殺したり、殺されたりしたことは一度もありません。9条のおかげで軍事予算の巨大化も抑えられました。9条は日本が平和国家として発展、繁栄してきた礎です。

日本共産党



焼き場に立つ少年 1945年長崎。亡くなった弟を背負い直立不動で火葬の順番を待つ少年。(撮影：ジョー・オダネル氏)

自衛隊明記で 軍事的緊張を激化

北朝鮮が心配

北朝鮮の核・ミサイル開発は絶対に許せません。同時に戦争は絶対ダメです。自衛隊は憲法に明記されると大軍拡につながり、東アジアの軍事的緊張を激化させ軍事衝突の危険を高めます。

海外で武力行使が無制限に

自衛隊を書きこむだけ？

安倍首相は、改憲で「自衛隊の任務や権限に変更が生じることはない」と言いますが、「変わらない」なら憲法を変える必要はありません。

憲法9条に「自衛隊保持」という項目を付け足すと、2項の「戦力不保持」と矛盾します。その場合、「後からつくった法律は前の法律に優先する」という法律の世界の原則によって、2項が空文化してしまいます。自衛隊は2項の縛りから解放されて、無制限な海外での武力行使に道が開かれます。

隊員の命を 危険に

自衛隊に感謝の気持ちを示したいが…

改憲団体が「自衛隊への感謝の気持ちを込めて自衛隊を憲法に明記しましょう」というチラシを配っています。国民が感謝する自衛隊とは災害救助で頑張る自衛隊です。しかし首相が書き込むとして

いる自衛隊は安保法制によって海外派兵や武力行使ができるようになった自衛隊です。自衛隊の憲法明記は、自衛隊への「感謝」どころか隊員の命を危険に陥れるものです。